

第2章

計画策定の趣旨

1. これまでの主な取り組み
2. 水道事業基本計画策定の趣旨・推進方法
3. 水道事業基本計画の位置づけ
4. 計画期間



これまでの基本計画等(左:沖繩市水道事業基本計画H12策定、右:沖繩市水道ビジョンH27策定)



第2章 計画策定の趣旨

1. これまでの主な取り組み

年月	主な取り組み	関連する実現方策テーマ	実現方策項目
H12年3月	・沖縄市水道事業基本計画」を策定 (計画期間15年)	-	-
H26～現在	・沖縄連携によるサモア水道公社維持 管理能力強化プロジェクト(CEPSO) へ参加	・持続	10. 国際貢 献
H27年3月	・「沖縄市水道ビジョン」を策定(計画 期間10年) ・水道施設(配水池・配水管等)にお ける安定供給のための維持管理や市民 サービスの向上 ・「沖縄市水道施設整備事業計画(管路 耐震化計画・更新計画)」に沿った管路 の耐震化・更新整備を実施	・強靱、持続 ・強靱、持続	1.水道施設の レベルアップ
H27年～現 在	・沖縄県水道災害相互応援協定」に基 づく中部圏域合同訓練を毎年実施、 県・近隣市町村との連携を確認	・安全、強靱	4.危機管理対 策
	・給水管用ポリエチレン管(一層管) の更新事業に着手	・強靱、持続	1.水道施設の レベルアップ
H28年	・環境への配慮を考慮した水道メータ ーの無塗装化 ・限られたスペースでの給水装置設置 や費用軽減のためメーター下流側逆流 防止機能付止水栓(MV-OCV)の採用 ・集合住宅用のメーターユニット、密 着ステンレスコアの採用	・強靱、持続	5.環境対策 1.水道施設の レベルアップ 2.資産管理運 用
H28年4月 ～5月	熊本地震災害への応援派遣(職員6 名、車両1台)	・安全、強靱	4.危機管理対 策

年月	主な取り組み	関連する実現方策テーマ	実現方策項目
H28年12月	配水ポンプ場への非常用自家発電設備の設置	・強靱、持続	1.水道施設のレベルアップ
H30年	・コンクリート製の消火栓室からレジンコンクリート製に変更 ・コンクリート製制水弁受台からプラスチック製の制水弁受台の変更	・強靱、持続	1.水道施設のレベルアップ
H30年7月	・沖縄市水道事業変更認可（第2次拡張事業）の届出「軽微な変更：計画給水人口138,800人から151,100人」	・持続	1.水道施設のレベルアップ
H30年10月	・消費税法改定に伴い水道料金及び加入金へ10%転嫁	・持続	2.資産管理の活用
R1年12月	・沖縄県によるスマートメーター実証実験（OCCとOTNet 合同）への参加	・強靱、持続	1.水道施設のレベルアップ
R1年6月	・沖縄市通水60周年	・強靱、持続	3.人材育成・組織力強化
R1年12月	沖縄市水道施設整備事業再評価委員会を設置	・持続	1.水道施設レベルアップ
R2年4月	・下水道課との組織統合に伴い、「沖縄市上下水道局」に組織名変更	・強靱、持続	3.人材育成・組織力強化
R3年3月	・沖縄市水道事業経営戦略を策定	・持続	2.資産管理の活用
R4年2月	・災害応援協定に基づく、沖縄市管工事協同組合との応急給水訓練の実施	・安全、強靱	4.危機管理対策
R4年8月	・米軍基地給水メーターの一部にスマートメーターを導入	・強靱、持続	1.水道施設のレベルアップ
R4年11月	・「ぴったりサービス」による水道の使用開始・使用中止の申込をインターネットから開始	・安全、強靱、持続	7.住民との連携
R5年2月	・公金管理運用委員会の設置	・持続	2.資産管理の活用
R5年11月	・災害時に備えた「水再利用型シャワーキット」の購入	・安全、強靱	4.危機管理対策
R6年2月	・応急給水拠点に市内小中学校（避難施設）を追加	・安全、強靱	4.危機管理対策

年月	主な取り組み	関連する実現方策テーマ	実現方策項目
R6年3月	・沖縄市水道施設整備事業再評価協議会を設置	・持続	1.水道施設レベルアップ
R6年3月	・局庁舎照明LED化	・持続	5.環境対策
R6年7月	・Web口座振替受付サービスの開始	・安全、強靱、持続	7.住民との連携
R7年3月	・「沖縄市水道事業基本計画」を策定	-	-



中部圏域合同訓練の様子



水道メーター逆流防止機能付止水栓の採用



「沖縄市上下水道局」の開局



水道施設への非常発電機設備の設置



水再生利用型シャワーキット



水道施設事業再評価協議会

2. 水道事業基本計画策定の趣旨・推進方法

沖縄市では、変わりゆく社会経済情勢に的確に対応していくため、平成12年3月に「沖縄市水道事業基本計画」を策定しました。さらに、将来の長期的な方向を見据え、より質の高い水道事業の構築に向けた指針とするために、厚生労働省策定の「新水道ビジョン」に沿って、平成27年3月に「沖縄市水道ビジョン」を策定しました。

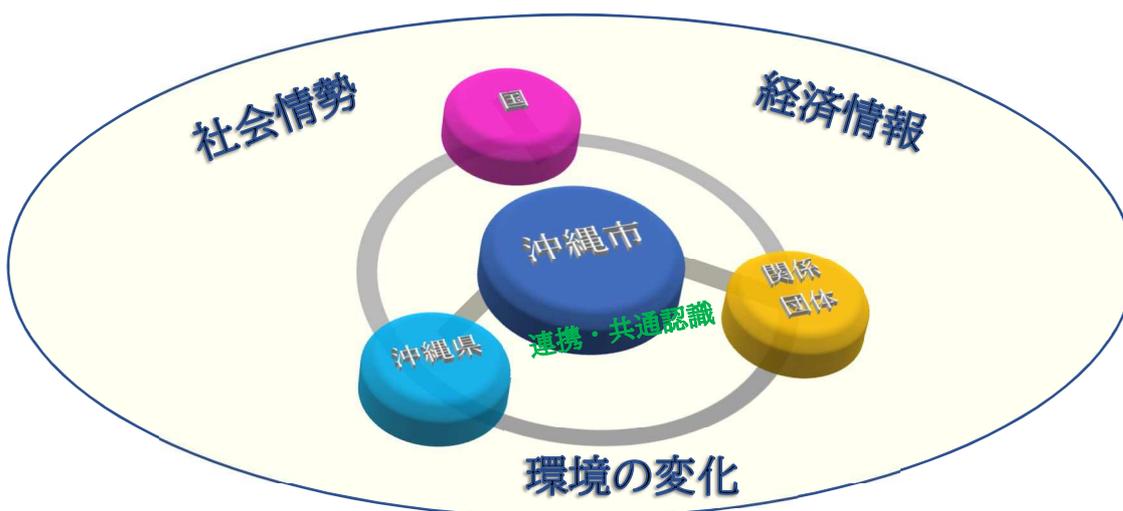
これまで、安心・強靱・持続の3つの目標テーマの下に、沖縄市水道ビジョンに沿って市民に安全で安心な水道サービスを安定的に提供するために取り組んできました。

しかし、管路の経年化や老朽化に伴う更新需要の増加や、近年、頻発している地震や水害等の災害時等にも安定した給水を行うための施設水準の向上に向けた取り組みが強く求められるとともに、社会情勢の変化に合わせた運営基盤の強化、職員が減少していく中での人材確保や新しい技術力の導入等が必要となり、水道事業を取り巻く環境・社会情勢は日々大きく変化しています。

沖縄市水道ビジョンで実施してきた内容を踏まえ、現在の課題と今後の水道事業の進むべき方向性を示し、計画性をもって取り組むため「沖縄市水道事業基本計画」に名称を変更しました。

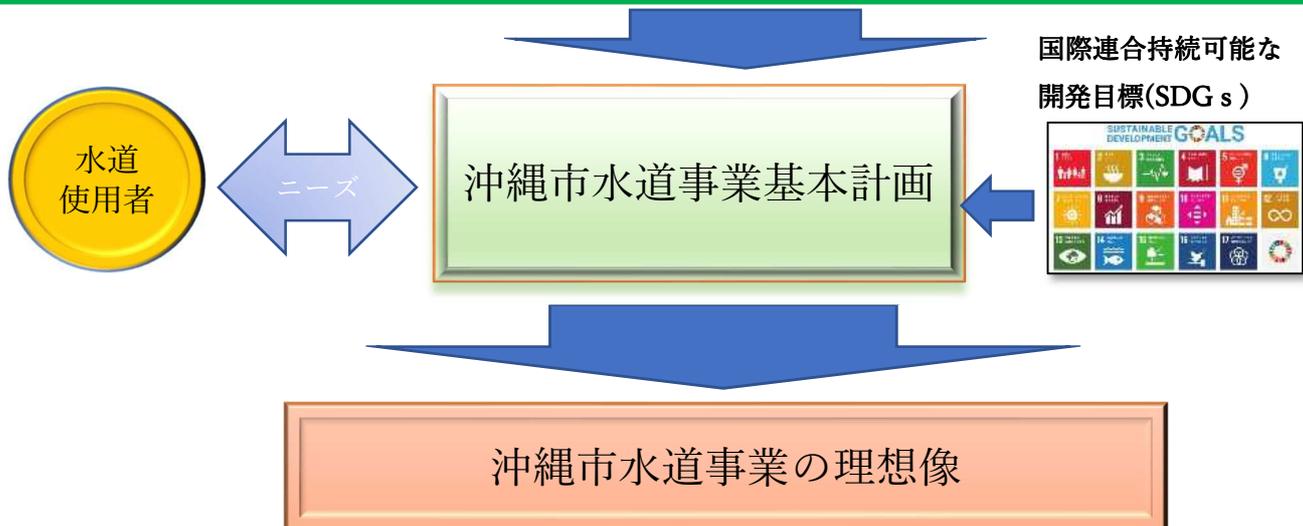
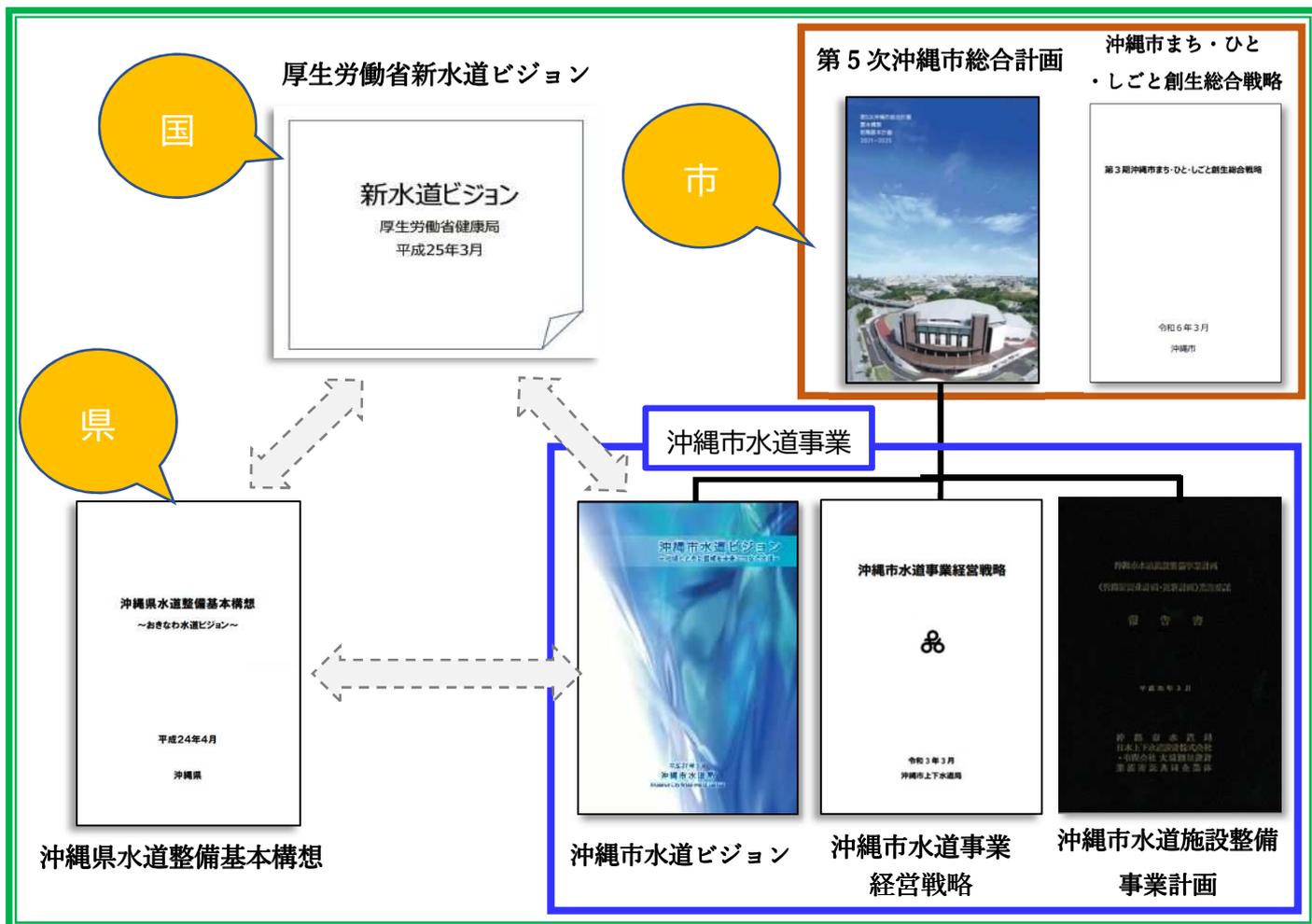
今後は、この新しい基本計画を基に、お客様のニーズに対応した信頼される水道を目指して事業を推進していきます。

▼沖縄市と国・沖縄県・関係団体との関係図



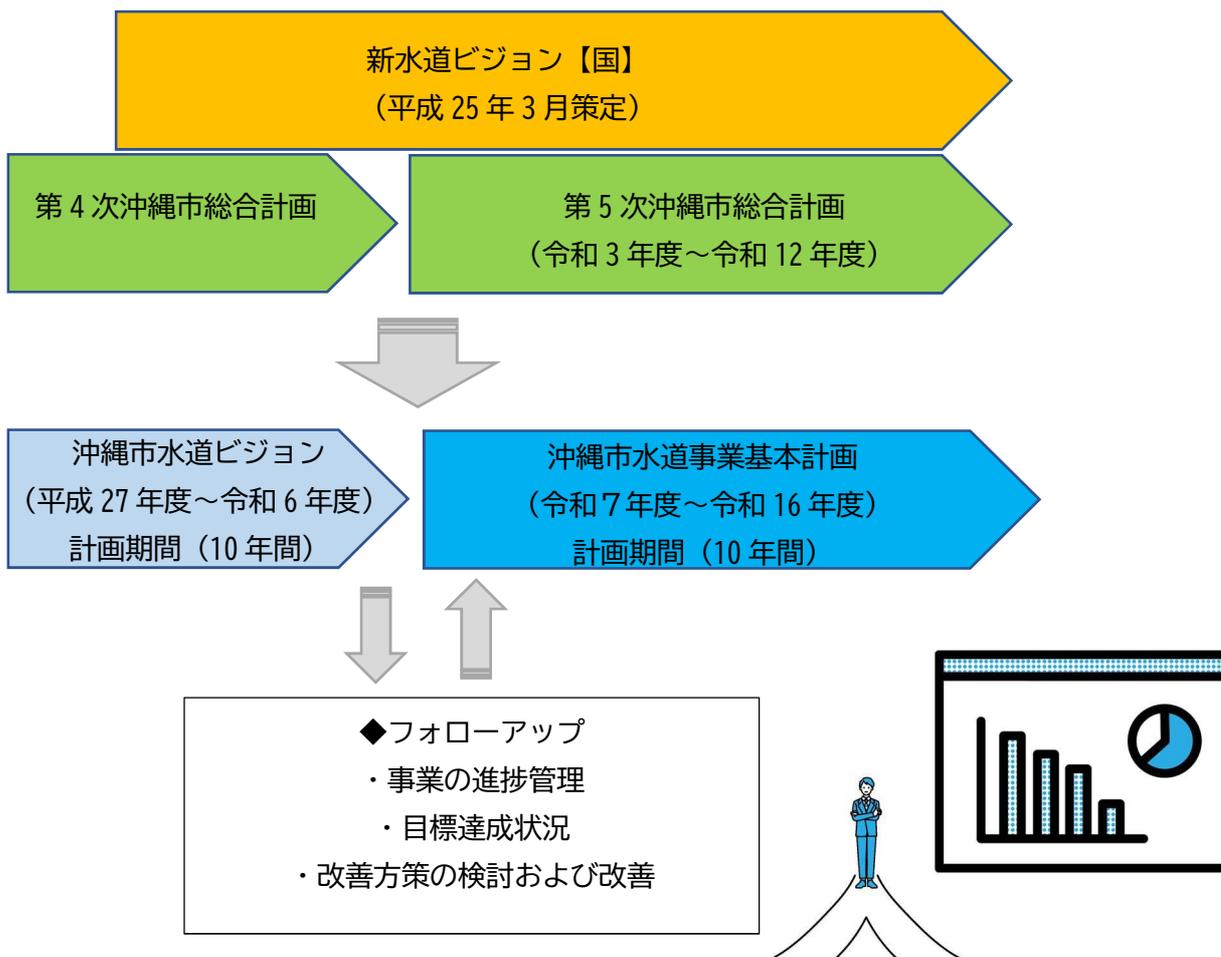
3. 水道事業基本計画の位置づけ

この計画は、厚生労働省の新水道ビジョン、第5次沖縄市総合計画（基本構想前期基本計画 2021-2025）や沖縄県水道整備基本構想～おきなわ水道ビジョン～平成24年4月などとの整合性を図りつつ、事業運営上、重点的な実現方策について基本的な考え方を示したものです。



4. 計画期間

水道事業基本計画の計画期間については、令和7年度から令和16年度までの10年間とします。また本市を取り巻く社会環境の変化等に対応していくため、実施計画を作成し、前期と後期に分けて各施策の進捗管理を行うとともに、目標達成のためフォローアップを図りながら適宜見直しを行なっていきます。

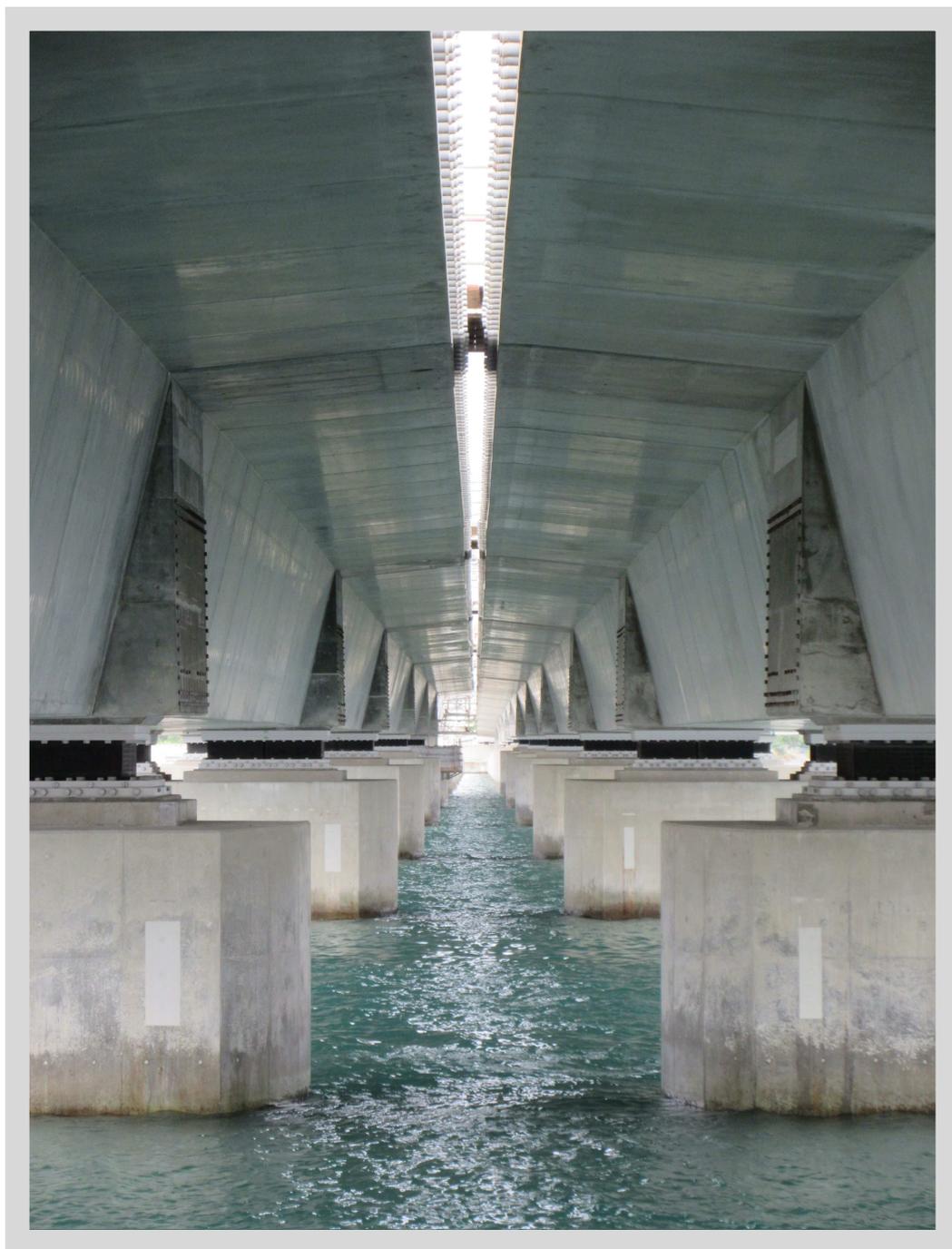


沖縄市水道事業基本計画 計画期間(10年間)

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16		
計画	前期 計画・実施					後期 計画・実施						
管理	毎年の進捗管理					評価 見直し	毎年の進捗管理					評価 見直し

◀ Column③ ▶

沖縄市のひとコマ



東部海浜埋立地に延びる県道 20 号線橋梁の橋台
(2024 年 12 月撮影)